

# 防火・防災訓練マニュアル

初版：平成 29 年 1 月 15 日

改版：

ハルノドリーム福祉会 きららドリーム沢良木

## 防火・防災訓練マニュアル

---

---

防災訓練の時期.....	3
① 防災訓練の実施時期.....	3
防災訓練の手順.....	3
① 防災訓練の計画.....	3
② 訓練当日の準備.....	3
③ 訓練を実施.....	3
④ 訓練の報告.....	4
初期消火の手順.....	5
① 消火判断.....	5
② 消火器の準備.....	5
③ 消火.....	5
避難(誘導)訓練の手順.....	5
① 避難の判断.....	5
② 災害発生の伝達.....	5
③ 避難誘導.....	5
④ 避難者の確認.....	5
(付則).....	5

このマニュアルは、きららドリーム沢良木における防火・防災訓練に対応することを目的とする。

### 防災訓練の時期

#### ① 防災訓練の実施時期

- 消防署届け出の防災訓練は年2回 春：5月、秋：11月 実施する

### 防災訓練の手順

#### ① 防災訓練の計画

- 訓練の日時、内容を決める
- 所轄の消防署へ「自衛消防訓練通知書」を届け出る。  
※訓練の実施時間は15分程度で計画する

#### ② 訓練当日の準備

- 防火訓練の場合、消火出火場所の特定  
例) 1階喫茶厨房より出火、2階指導訓練室キッチンから出火、等
- 地震時訓練の場合、震度等の特定  
例) 震度5の揺れが高槻市に発生、等

#### ③ 訓練を実施

- 身の安全の確保
  - ・ 地震の場合落下などの恐れのある物から離れて安全な場所を確認する  
(落下物の恐れのある物は固定するか戸棚の中にしまう)
  - ・ 避難経路の確認 (避難経路に物がある場合は整理する)
- 出火防止
  - ・ 地震時コンロなどを使っている場合は消火
- 消火
  - ・ 火災が起こっている場合、消火器を使用し初期消火を行う  
(消火器の位置を確認し、すぐに使えるようにします)  
※別紙 初期消火の手順 参照
- 避難
  - ・ 避難の必要がある場合、避難を行う  
※別紙 避難(誘導)訓練の手順 参照
- 通報
  - ・ 119番に通報し、訓練であることを伝える
  - ・ 住所を伝える「高槻市沢良木町16-35 ドリームビルです」

## 防火・防災訓練マニュアル

---

- ・ 火災の状況を伝える  
どこで、何が燃えたか、現在の火の状況、初期消火完了か？  
※「コンセントから出火し、紙に燃え広がりましたが、初期消火で消火しました」
- ・ 避難している人の数や、けが人の有無などを伝える。
- ・ 電話した人の名前、電話番号を伝える。

### ④ 訓練の報告

- ・ 訓練の結果を社内報告書に記入し、自衛消防訓練通知書と一緒に管理者へ提出します

### 初期消火の手順

- ① 消火判断
  - 炎の大きさを確認する
    - ※炎が天井に届いていない場合は初期消火を行う。
    - 天井に届いている場合は身の安全を確保して避難する。
- ② 消火器の準備
  - 右手でレバーを持ち、左手を消火器の底に添え、火元まで運ぶ
    - ※安全栓は火元に運ぶまで抜かない
  - 床に消火器を置き、左手でレバーを固定し、右手で安全栓を抜く
    - ※訓練の場合は抜かない
  - 火元から3m程離れ、右手でホースを外し、火元に向ける
- ③ 消火
  - 左手でレバーを強く握り、消火する
    - ※炎の根元を掃くように消火する

### 避難(誘導)訓練の手順

- ① 避難の判断
  - 地震時通常震度3～4程度での揺れでは避難しませんが、身の周りの状況を見て、物が散乱しているや、建物に被害があるなどの場合建物の外に避難する
  - 地震などの場合、揺れが完全におさまってから避難を開始する
- ② 災害発生 of 伝達
  - 施設内にいる利用者に火災等が発生し、避難する旨を伝える  
「〇〇で火事が起きたので、今から避難します。落ち着いてついてきてください」
- ③ 避難誘導
  - 火災が発生している場合、頭を低くし、ハンカチなどを鼻、口に当てて煙を吸い込まないように指示する。
  - 利用者を避難経路に誘導する
  - 利用者がばらばらにならないようスタッフが付き、落ち着いて誘導する
  - 最後の人は各居室（トイレやふろ場等も）に人が残っていないか確認する
- ④ 避難者の確認
  - 逃げ遅れた人がいないか、怪我をした人がいないか確認する。

(付則)

この規範は、H29年1月15日から施行する。